

## 日本太陽光発電学会 (J-PVS)

次世代太陽光発電システム分科会、Women in Photovoltaics 分科会(WinPVJ)、  
次世代太陽電池セル・モジュール分科会 合同研究会

### 「温室効果ガス排出量ネットゼロ実現に向けた結晶シリコン太陽電池の現状と将来」

国際エネルギー機関 (IEA) は、2022 年 7 月に発行した報告書「Solar PV Global Supply Chains」において、世界が温室効果ガス排出量ネットゼロを実現するためには、世界における太陽光発電年間導入量を 2030 年までに 600GW 以上へ引き上げる必要があり、太陽電池製品の生産能力を現状の 2 倍にする必要があると分析しています。この拡張においては、太陽電池サプライチェーン全体の多様性や持続可能性を確保する必要があると指摘しています。本研究会では、現在の市場において 95%以上のシェアをもつ結晶シリコン太陽電池に焦点をあて、サプライチェーンの動向、研究開発動向、国内サプライチェーン復活の可能性など様々な側面から結晶シリコン太陽電池技術について議論します。

・日時：2023 年 3 月 7 日 (火) 13:30~17:30

・場所：東京理科大学 森戸記念館 第一会議室

(会場定員 50 名、講演部分はハイブリッド開催)

<https://www.tus.ac.jp/tuslife/campus/kagurazaka/>

・参加費：本学会会員：無料 非会員：一般 10,000 円 学生 2,000 円

\*メディア関係者は無料で参加いただけます

#### ・プログラム

- 13:30-13:35 開会挨拶 J-PVS・次世代太陽光発電システム分科会長 植田 譲 氏
- 13:35-14:00 株式会社資源総合システム 貝塚 泉 氏  
「結晶シリコン太陽電池サプライチェーン：需要地での再構築の動向」
- 14:00-14:25 一般社団法人 再生可能エネルギー長期安定電源推進協会(REASP)  
事務局長 川崎 雄介 氏  
「発電事業者から見た太陽光発電資材の現状と課題」
- 14:25-14:50 太陽光発電技術研究組合(PVTEC) 田中 誠 氏  
「日本の太陽電池研究開発を振り返る」
- 14:50-15:10 休憩
- 15:10-15:35 大阪大学/東洋アルミニウム株式会社 マルワン・ダムリン 氏  
「結晶シリコン太陽電池の研究開発動向」
- 15:35-16:00 モット・マクドナルド・ジャパン 松川 洋氏  
「大規模太陽光発電プロジェクトにおける太陽電池のバンカビリティ」
- 16:00-16:25 東京大学 荻本 和彦 氏  
「エネルギーシステムインテグレーション  
-電力システムのセキュリティと持続的 PV 導入-」
- 16:30-17:30 パネルディスカッション/オープンディスカッション
- 17:30 閉会

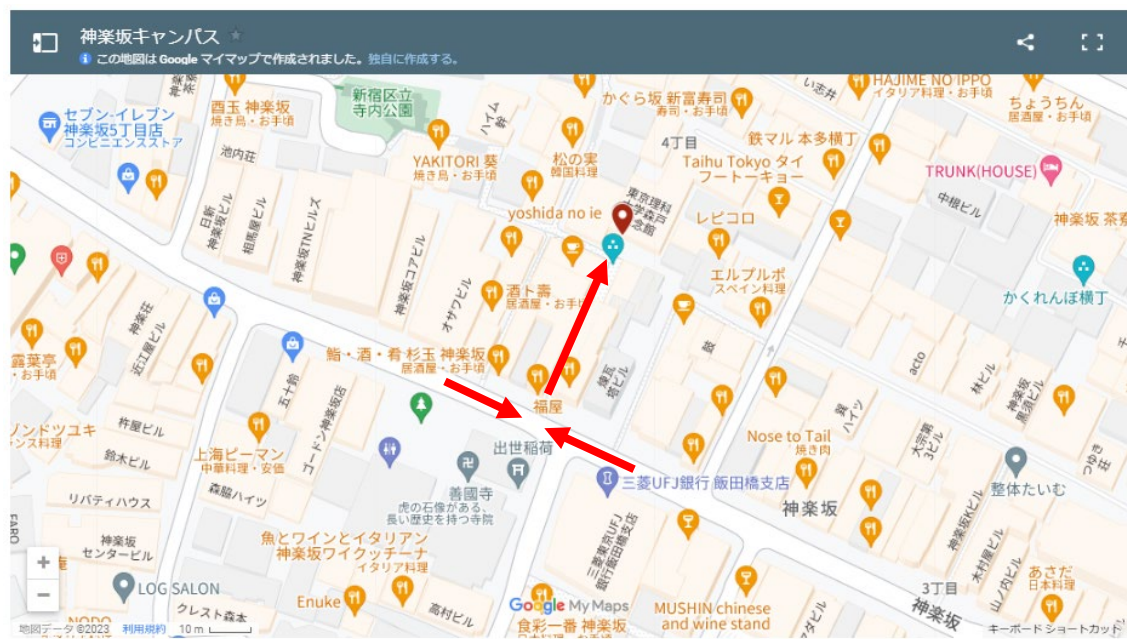
※一部講演はオンラインまたは録画になる可能性があります。講演部分についてはオンライン配信を行う予定です。ただし、会場設備の関係で画像、音声の品質が十分ではない可能性がありますので、ご了承ください。

会場案内：

13号館(森戸記念館)所在地： 東京都新宿区神楽坂 4-2-2

JR「飯田橋」西口 / 東京メトロ「飯田橋」B3出口下車 徒歩6分

都営大江戸線「牛込神楽坂」A3出口下車 徒歩4分



<https://www.tus.ac.jp/tuslife/campus/kagurazaka/>